



# 2021年3月期 決算説明資料

2021年4月28日

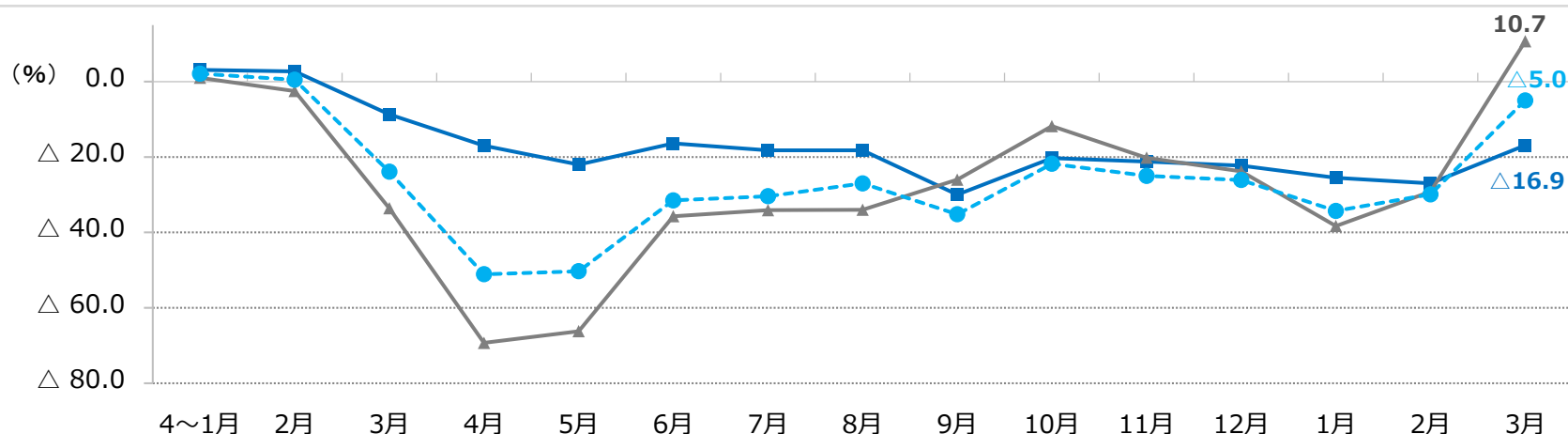
# 各事業の営業状況（月次推移）



## 小田急電鉄 輸送人員（前年比）

- 通勤定期
- ▲ 定期外
- 定期・定期外計

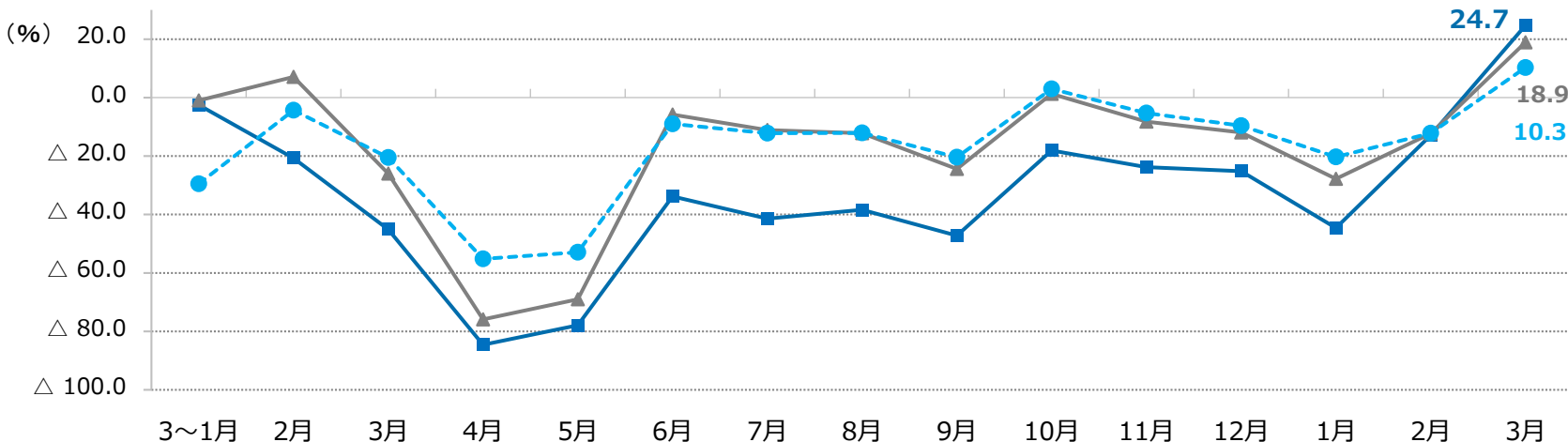
※ 9月・10月は前年度消費増税に伴う定期券先買いおよび反動減の影響あり



## 小田急百貨店 取扱高（前年比）

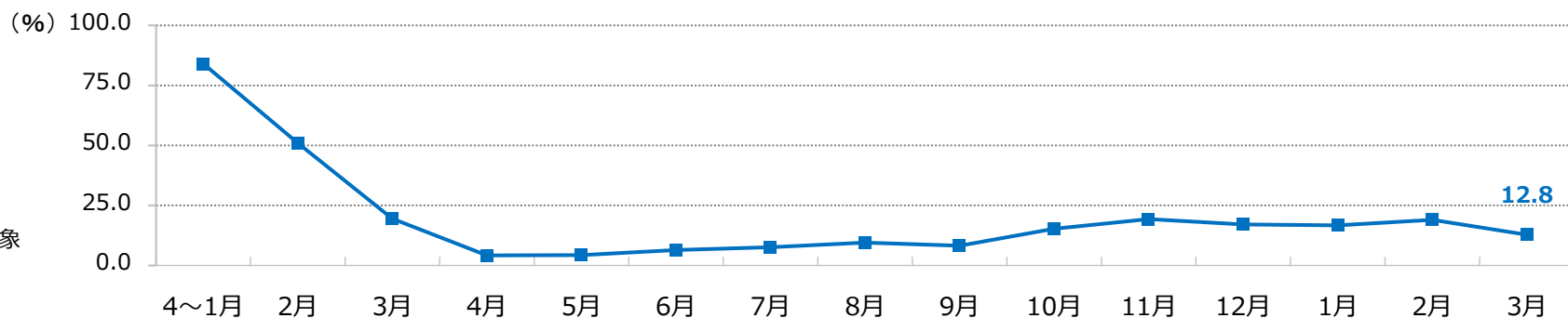
- 新宿店店頭
- ▲ 町田店
- ふじさわ

※ 町田店・ふじさわは19年3月にリニューアルを実施  
 ※ 9月・10月は前年度消費増税に伴う駆け込み需要および反動減の影響あり



## ハイアット リージェンシー 東京 宿泊稼働率

※ 10/1~12/27 GoToトラベル事業適用対象



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減	3月時点見込	増減
営業収益	534,132	385,978	△148,154 (△27.7%)	384,100	+1,878 (+0.5%)
運輸業	173,174	116,230	△56,944	116,500	△269
流通業	206,563	157,685	△48,878	157,500	+185
不動産業	80,478	72,872	△7,606	71,900	+972
その他の事業	112,256	68,131	△44,124	66,600	+1,531
調整額	△38,340	△28,941	+9,399	△28,400	△541
営業利益	41,103	△24,190	△65,294 (-)	△28,900	+4,709 (-)
運輸業	21,641	△25,937	△47,578	△27,700	+1,762
流通業	4,373	△1,741	△6,115	△1,800	+58
不動産業	12,940	16,459	+3,519	14,900	+1,559
その他の事業	2,090	△13,020	△15,111	△14,400	+1,379
調整額	58	49	△8	100	△50
経常利益	38,299	△31,223	△69,523 (-)	△35,800	+4,576 (-)
親会社株主に帰属する当期純利益	19,923	△39,804	△59,728 (-)	△42,600	+2,795 (-)
設備投資額	91,599	62,943	△28,655		
減価償却費	49,628	51,258	+1,630		
有利子負債残高	741,027	782,822	+41,795		

# 営業外・特別損益、連結適用範囲の異動



## <営業外・特別損益>

単位：百万円	2019年度	2020年度		増減・主な要因
営業外収益	4,523	4,111	△412	
営業外費用	7,327	11,144	+3,816	
特別利益	6,315	14,153	+7,837	投資有価証券売却益 6,304 (+6,298) 助成金収入 3,609 (+3,609)
特別損失	8,616	24,191	+15,575	減損損失 15,751 (+13,400) ※1 臨時休業による損失 2,587 (+2,587) ※2

※1 新宿西口再開発の工事計画を踏まえた計上額を含む

※2 緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した減価償却費・賃借料等の固定費を「臨時休業による損失」として特別損失に計上

(参考) 臨時休業による損失の内訳 (百万円)

運輸業	213
流通業	1,287
不動産業	409
その他の事業	677
合計	2,587

## <連結範囲および持分法の適用の異動状況 (対前期末)>

連結子会社 39社 (1社増、5社減)

- (増加) (株)小田急SCディベロップメント : 会社分割による新設 (2020年4月)
- (減少) (株)南伊豆東海バス  
(株)西伊豆東海バス : (株)東海バス(旧:(株)伊豆東海バス) に再編 (2020年4月)  
(株)新東海バス  
(株)東海バスオレンジシャトル  
小田急デパートサービス(株) : (株)小田急ビルサービスに吸収合併 (2020年4月)

持分法適用会社 1社 (変更なし)

## <連結貸借対照表>

単位：百万円		2019年度	2020年度	増減・主な要因	
流動資産		131,791	146,692	+14,900	
固定資産		1,196,512	1,180,304	△16,208	
資産合計		1,328,303	1,326,996	△1,307	現金及び預金 +20,803 有形固定資産 △11,271 投資有価証券 △3,768
流動負債		377,494	339,704	△37,789	
固定負債		560,626	634,835	+74,208	
負債合計		938,120	974,539	+36,418	有利子負債 +41,795 退職給付に係る負債 △6,351
純資産合計		390,183	352,456	△37,726	利益剰余金 △43,460
負債純資産合計		1,328,303	1,326,996	△1,307	

## (参考) その他の財務情報

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
現金及び預金	28,594	49,397	+20,803
有利子負債	741,027	782,822	+41,795
自己資本比率	29.1%	26.4%	△2.7P

## <連結キャッシュ・フロー計算書>

単位：百万円		2019年度	2020年度	増減・主な要因	
営業キャッシュ・フロー		74,897	27,178	△47,718	
投資キャッシュ・フロー		△85,454	△43,582	+41,872	設備投資支出の減少
財務キャッシュ・フロー		17,171	37,207	+20,035	借入れ・社債発行収入の増加
現金及び現金同等物の増減額		6,613	20,803	+14,189	
現金及び現金同等物の当期末残高		28,464	49,267	+20,803	

# セグメント情報 (運輸業)

※ 当決算説明資料では、「調整額」は各サブセグメントの営業収益および営業利益に含めて表示しています。



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因		3月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	173,174	116,230	△56,944 (△32.9%)		116,500	△269 (△0.2%)	
鉄道業	131,528	87,868	△43,659	(△)外出自粛による利用者減 (△)~7/22箱根登山鉄道一部区間運休※	88,400	△531	(△)感染再拡大・外出自粛による利用者減
バス業	35,262	24,491	△10,771	(△)外出自粛による利用者減 (△)一部ダイヤ変更・運休	24,200	+291	
その他	6,384	3,870	△2,514	(△)4/10~5/29箱根ロープウェイ運休 (△)4/10~5/31箱根観光船運休	3,900	△29	
営業利益	21,641	△25,937	△47,578 (-)		△27,700	+1,762 (-)	
鉄道業	22,013	△16,710	△38,723		△17,500	+789	(+)費用削減
バス業	78	△7,494	△7,573		△8,300	+805	(+)費用削減
その他	△450	△1,733	△1,282		△1,900	+166	

※ 台風19号の影響により、2019年10月12日より箱根登山鉄道の箱根湯本駅~強羅駅間運休 (2020年7月23日より全線で運転再開)

資産	682,223	671,599	△10,623
設備投資額	40,940	35,155	△5,785
減価償却費	32,392	33,309	+917

## <フリーパス売上枚数 (対前年) >

箱根フリーパス	△61.8%
江の島・鎌倉フリーパス	△87.6%

## <小田急旅行センター利用者数 (対前年) >

乗車券等の購入者	△99.0%
----------	--------

## <箱根エリアの営業収益 (対前年) >

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
箱根エリア※	17,708	10,757	△6,951

(参考) 箱根交通各社合計輸送人員 対前年 △40.5%

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

(参考) 箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引き上げにより、2019年5月19日より箱根ロープウェイ運休 (2019年10月26日より全線で運転再開)

## <鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

### ■ 輸送人員

単位：千人	2019年度	2020年度	増減
定期	477,738	331,963	△ 145,775 (△ 30.5%)
通勤定期	349,361	274,678	△ 74,683 (△ 21.4%)
通学定期	128,377	57,285	△ 71,092 (△ 55.4%)
定期外	287,589	193,262	△ 94,327 (△ 32.8%)
合計	765,327	525,225	△ 240,102 (△ 31.4%)

### ■ 運輸収入

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
定期	48,354	34,290	△ 14,063 (△ 29.1%)
通勤定期	41,755	31,638	△ 10,116 (△ 24.2%)
通学定期	6,599	2,652	△ 3,947 (△ 59.8%)
定期外	68,951	43,575	△ 25,376 (△ 36.8%)
旅客運輸収入計	117,306	77,866	△ 39,439 (△ 33.6%)
運輸雑収	3,798	3,191	△ 607 (△ 16.0%)
運輸収入合計	121,105	81,057	△ 40,047 (△ 33.1%)

### ■ 営業費

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
営業費 合計	98,801	94,934	△ 3,867
人件費	28,393	27,231	△ 1,161
修繕費	8,603	7,508	△ 1,094
動力費	5,879	5,143	△ 735
固定資産除却費	1,391	1,401	+ 10
減価償却費	24,628	25,175	+ 546
その他	29,906	28,473	△ 1,433

# セグメント情報 (流通業)



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因		3月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	206,563	157,685	△48,878 (△23.7%)		157,500	+185 (+0.1%)	
百貨店業	131,342	86,371	△44,970	(△)4/8~5/25臨時休業(食品フロア除く) (△)外出自粛による利用者減	86,300	+71	
ストア・小売業	68,008	64,428	△3,579	(△)駅構内コンビニ利用者減・臨時休業 (+)内食需要増に伴うストア利用者増	64,300	+128	
その他	7,212	6,884	△328		6,900	△15	
営業利益	4,373	△1,741	△6,115 (-)		△1,800	+58 (-)	
百貨店業	4,403	△1,514	△5,917		△1,500	△14	
ストア・小売業	186	57	△129		0	+57	
その他	△216	△284	△67		△300	+15	

資産	72,653	59,146	△13,506
設備投資額	5,498	3,091	△2,406
減価償却費	3,791	3,557	△234

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

単位：百万円	2020年度	増減
新宿店	55,782	△39.2%
店頭	50,455	△42.0%
町田店	23,358	△23.2%
ふじさわ	5,114	△18.3%
その他	2,116	△25.9%
合計	86,371	△34.2%

<百貨店業：免税売上高（対前年）>

新宿店	△84.8%
-----	--------

<ストア・小売業：  
小田急商事 ストア部門売上高（対前年）>

全店	+4.4%
既存店	+4.2%



# セグメント情報（不動産業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因		3月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	80,478	72,872	△7,606 (△9.5%)		71,900	+972 (+1.4%)	
不動産分譲業	38,981	32,044	△6,937	(△)計上戸数減	31,900	+144	
不動産賃貸業	41,496	40,828	△668	(△)商業施設臨時休業に伴う賃料減免	40,000	+828	
営業利益	12,940	16,459	+3,519 (+27.2%)		14,900	+1,559 (+10.5%)	
不動産分譲業	1,621	2,067	+445	(+)当社分譲用地売却	2,100	△32	
不動産賃貸業	11,318	14,392	+3,073	(+)費用削減	12,800	+1,592	(+)費用削減

資産	396,030	407,252	+11,222
設備投資額	29,547	19,265	△10,282
減価償却費	9,374	10,052	+677

## <分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2019年度	2020年度	増減
戸建	125	128	+3
マンション	268	196	△72
土地	22	52	+30
合計	415	376	△39

# セグメント情報（その他の事業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因		3月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	112,256	68,131	△44,124 (△39.3%)		66,600	+1,531 (+2.3%)	
ホテル業	27,948	10,891	△17,056	(△)4/26~5/31箱根ホテル臨時休業 (△)外出自粛・入国制限による利用者減	10,500	+391	
レストラン業	19,415	11,160	△8,254	(△)臨時休業 (△)外出自粛による利用者減	11,000	+160	
その他	64,892	46,079	△18,812	(△)外出自粛による利用者減（旅行業等） (△)リゾート人材派遣・広告需要減	45,100	+979	(+)ビル管理メンテナンス・広告受注増
営業利益	2,090	△13,020	△15,111 (-)		△14,400	+1,379 (-)	
ホテル業	△2,070	△10,429	△8,359		△11,200	+770	(+)費用削減
レストラン業	△130	△2,008	△1,878		△2,000	△8	
その他	4,290	△582	△4,872		△1,200	+617	

資産	137,514	125,166	△12,347
設備投資額	15,612	5,431	△10,180
減価償却費	4,151	4,422	+271

## <ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2019年度	2020年度	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	77.8%	13.7%	△64.1P
ホテルセンチュリーサザンタワー	71.7%	1.0%	△70.7P

## <ホテル業：客室稼働率>

	2019年度	2020年度	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	75.9%	11.7%	△64.2P
ホテルセンチュリーサザンタワー	80.3%	11.2%	△69.1P
山のホテル	69.1%	53.3%	△15.8P
箱根ハイランドホテル	67.4%	50.0%	△17.4P
ホテルはつはな	80.4%	64.8%	△15.6P

- 本業績予想における、各セグメントの営業収益の回復見込は下記のとおりです。

【平時と比較した営業収益の回復見込】

運輸業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小田急電鉄 鉄道業 上期は平時の80%程度から徐々に回復し、下期は85%程度で推移</li> <li>■ バス業 通期で平時の80%程度</li> <li>■ 箱根（交通各社） 通期で平時の80%程度</li> </ul>
流通業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 百貨店業 通期で平時の90%程度</li> <li>■ ストア・小売業 通期で平時並み</li> </ul>
不動産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 不動産賃貸業 通期で平時並み</li> </ul>
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホテル業 通期で平時の50%程度</li> <li>■ レストラン業 通期で平時の80%程度</li> </ul>

※ 4月25日からの緊急事態宣言による影響は織り込んでいません。

※ 会計方針の変更による影響額を控除して比較を行っています。

※ 実際の感染拡大の状況や消費動向等により当業績予想は大きく変動する可能性があります。今後の動向を踏まえ、当業績予想について修正が必要となる場合には速やかに開示します。

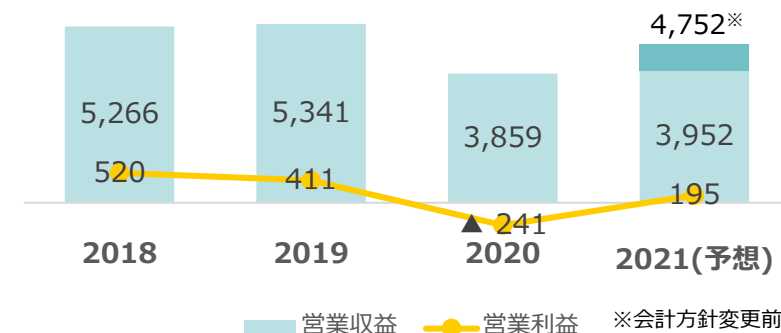
# 連結業績予想

※ 2021年度より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、業績予想は当該基準を適用した後の金額となっています。  
 なお、適用による影響額は「会計方針の変更による影響額」に記載しています。

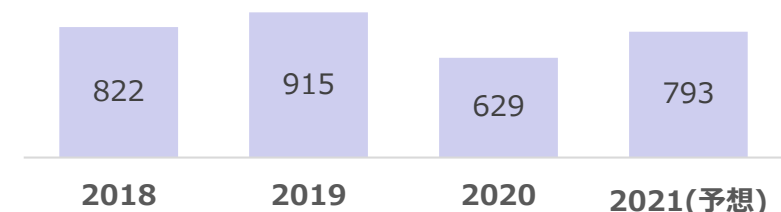


単位：百万円	2020年度	2021年度	増減	2021年度 会計方針 変更前	会計方針の 変更による 影響額※
営業収益	385,978	395,200	+9,221 (+2.4%)	475,200	△80,000 (△16.8%)
運輸業	116,230	150,000	+33,769	150,900	△900
流通業	157,685	112,000	△45,685	195,300	△83,300
不動産業	72,872	74,900	+2,027	74,900	-
その他の事業	68,131	87,200	+19,068	83,400	+3,800
調整額	△28,941	△28,900	+41	△29,300	+400
営業利益	△24,190	19,500	+43,690 (-)	19,500	- (-)
運輸業	△25,937	5,800	+31,737	5,800	-
流通業	△1,741	4,200	+5,941	4,200	-
不動産業	16,459	15,600	△859	15,600	-
その他の事業	△13,020	△6,100	+6,920	△6,100	-
調整額	49	0	△49	0	-
経常利益	△31,223	17,200	+48,423 (-)	17,200	- (-)
親会社株主に帰属 する当期純利益	△39,804	13,500	+53,304 (-)	13,500	- (-)
設備投資額	62,943	79,300	+16,356		
減価償却費	51,258	49,800	△1,458		
有利子負債残高	782,822	768,200	△14,622		

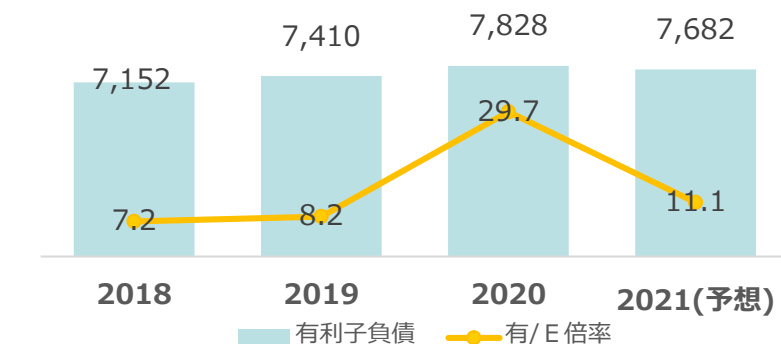
営業収益・営業利益の推移（単位：億円）



設備投資額の推移（単位：億円）



有利子負債残高の推移（単位：億円）



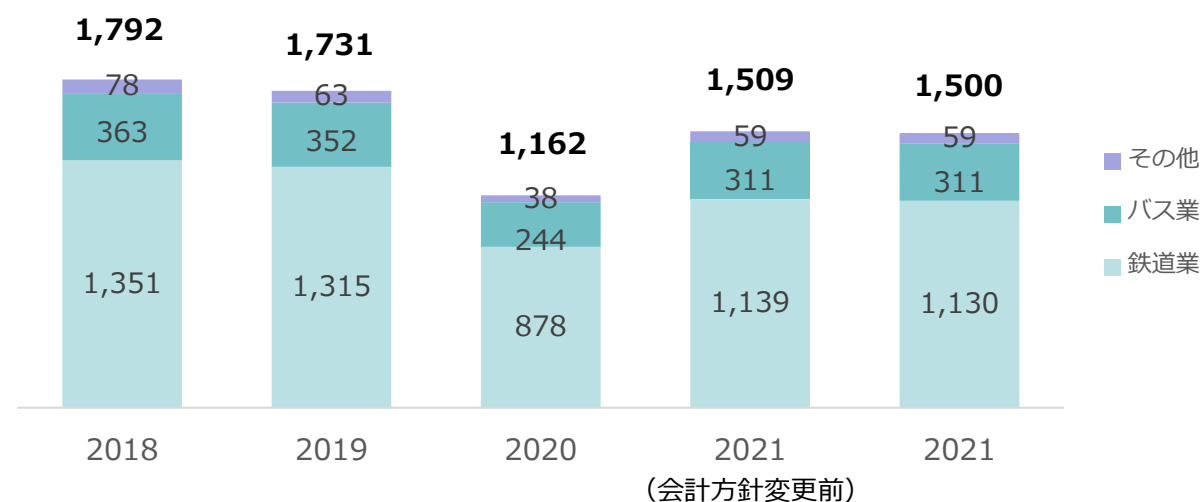
# セグメント別業績予想（運輸業）



単位：百万円	2020年度	2021年度	増減・主な要因		2021年度 会計方針変更前	会計方針の変更による影響額	
営業収益	116,230	150,000	+33,769 (+29.1%)		150,900	△900 (△0.6%)	
鉄道業	87,868	113,000	+25,131	(+)外出自粛緩和による利用者数の回復	113,900	△900	手数料収入の計上方法変更
バス業	24,491	31,100	+6,608	(+)外出自粛緩和による利用者数の回復	31,100	-	
その他	3,870	5,900	+2,029		5,900	-	
営業利益	△25,937	5,800	+31,737 (-)		5,800	- (-)	
鉄道業	△16,710	7,900	+24,610		7,900	-	
バス業	△7,494	△1,700	+5,794		△1,700	-	
その他	△1,733	△400	+1,333		△400	-	

設備投資額	35,155	33,300	△1,855
減価償却費	33,309	33,200	△109

営業収益の推移（単位：億円）



## <箱根エリアの営業収益（対前年）>

単位：百万円	2020年度	2021年度	増減
箱根エリア*	10,757	16,853	+6,096

\* 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

# セグメント別業績予想（運輸業）



<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

## ■ 輸送人員

単位：千人	2020年度	2021年度	増減		増減	
					上期	下期
定期	331,963	392,842	+60,879	(+18.3%)	(+15.4%)	(+21.4%)
通勤定期	274,678	291,443	+16,765	(+6.1%)	(△0.2%)	(+12.9%)
通学定期	57,285	101,399	+44,114	(+77.0%)	(+101.6%)	(+56.8%)
定期外	193,262	249,152	+55,890	(+28.9%)	(+45.1%)	(+16.6%)
合計	525,225	641,994	+116,769	(+22.2%)	(+25.2%)	(+19.5%)

## ■ 運輸収入

単位：百万円	2020年度	2021年度	増減		増減	
					上期	下期
定期	34,290	40,233	+5,942	(+17.3%)	(+14.5%)	(+20.2%)
通勤定期	31,638	34,998	+3,359	(+10.6%)	(+5.8%)	(+15.6%)
通学定期	2,652	5,235	+2,583	(+97.4%)	(+137.8%)	(+67.5%)
定期外	43,575	59,768	+16,192	(+37.2%)	(+55.4%)	(+23.5%)
旅客運輸収入計	77,866	100,001	+22,135	(+28.4%)	(+35.7%)	(+22.2%)
運輸雑収	3,191	3,811	+620	(+19.4%)	(+13.9%)	(+24.9%)
運輸収入合計	81,057	103,813	+22,755	(+28.1%)	(+34.8%)	(+22.3%)

## ■ 営業費

単位：百万円	2020年度	2021年度	増減
営業費 合計	94,934	95,280	+346
人件費	27,231	26,466	△765
修繕費	7,508	8,310	+801
動力費	5,143	4,493	△650
固定資産除却費	1,401	1,515	+113
減価償却費	25,175	25,686	+511
その他	28,473	28,808	+335

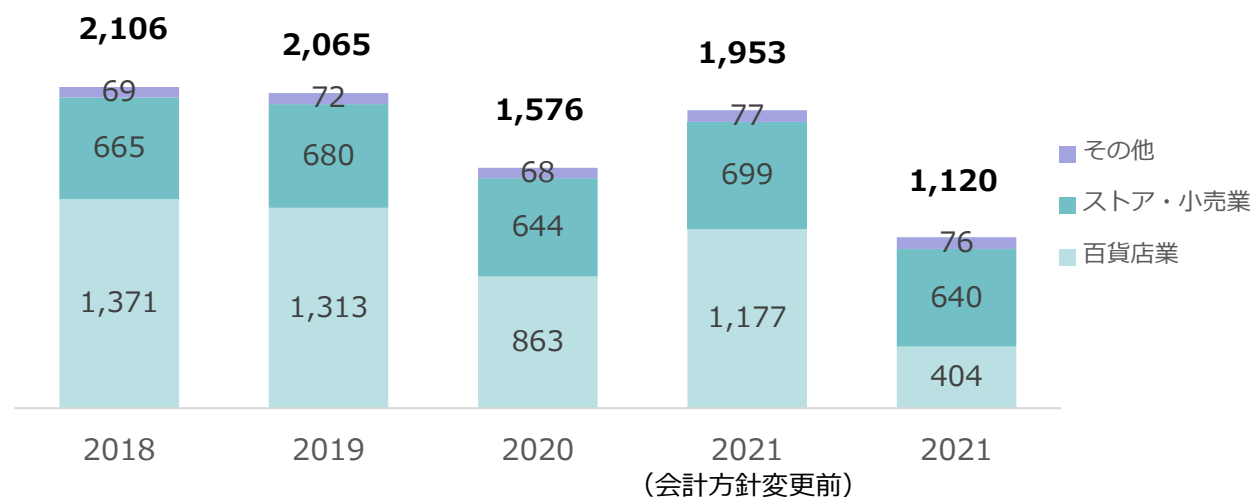
# セグメント別業績予想（流通業）



単位：百万円	2020年度	2021年度	増減・主な要因		2021年度 会計方針変更前	会計方針の変更による影響額	
営業収益	157,685	112,000	△45,685 (△29.0%)		195,300	△83,300 (△42.7%)	
百貨店業	86,371	40,400	△45,971	(△)会計方針の変更による影響 (+)前期臨時休業の反動	117,700	△77,300	消化仕入取引の計上方法変更等
ストア・小売業	64,428	64,000	△428	(△)会計方針の変更による影響 (+)駅構内コンビニ利用者数の回復	69,900	△5,900	消化仕入取引の計上方法変更等
その他	6,884	7,600	+715		7,700	△100	
営業利益	△1,741	4,200	+5,941 (-)		4,200	- (-)	
百貨店業	△1,514	3,400	+4,914	(+)前期臨時休業の反動	3,400	-	
ストア・小売業	57	900	+842	(+)駅構内コンビニ利用者数の回復	900	-	
その他	△284	△100	+184		△100	-	

設備投資額	3,091	2,700	△391
減価償却費	3,557	2,800	△757

営業収益の推移（単位：億円）



# セグメント別業績予想（不動産業）

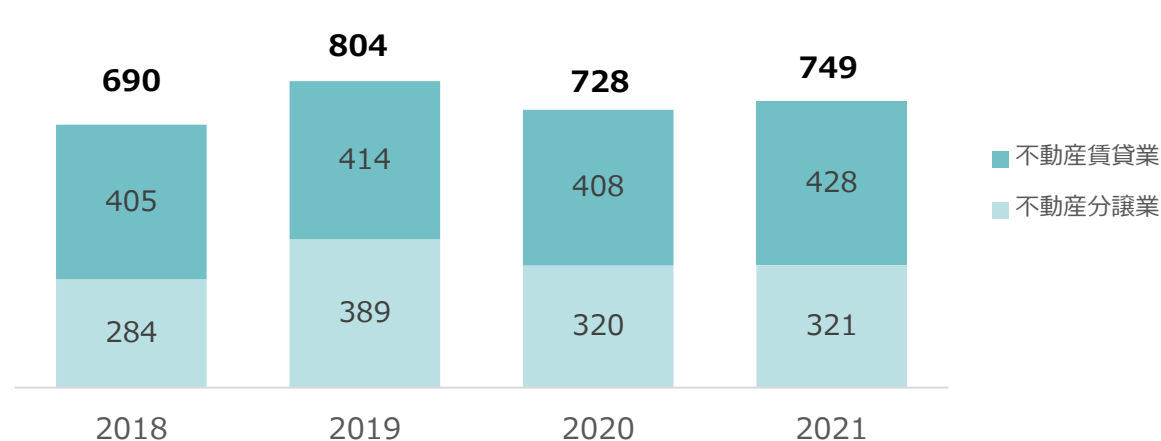


単位：百万円	2020年度	2021年度	増減・主な要因	2021年度 会計方針変更前	会計方針の変更による影響額	
営業収益	72,872	74,900	+2,027 (+2.8%)	74,900	-	(-)
不動産分譲業	32,044	32,100	+55	32,100	-	
不動産賃貸業	40,828	42,800	+1,971 (+)前期商業施設賃料減免の反動	42,800	-	
営業利益	16,459	15,600	△859 (△5.2%)	15,600	-	(-)
不動産分譲業	2,067	1,000	△1,067	1,000	-	
不動産賃貸業	14,392	14,600	+207	14,600	-	
設備投資額	19,265	38,300	+19,034			
減価償却費	10,052	9,600	△452			

<参考> 不動産分譲業：小田急不動産 計上予定戸数

単位：戸・区画	2020年度	2021年度	増減
戸建	128	68	△60
マンション	196	350	154
土地	52	31	△21
合計	376	449	+73

営業収益の推移（単位：億円）





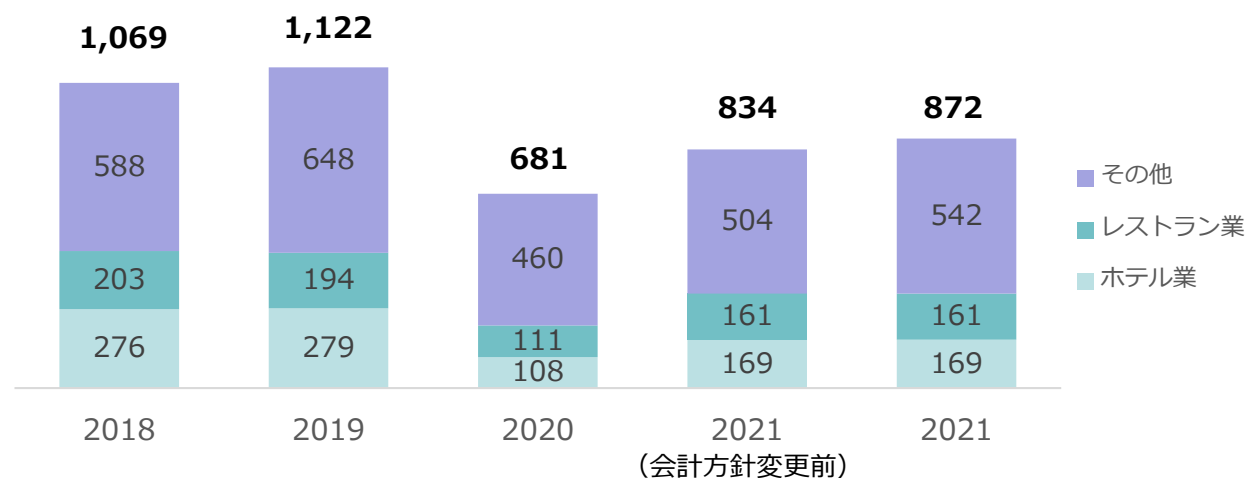
# セグメント別業績予想（その他の事業）



単位：百万円	2020年度	2021年度	増減・主な要因		2021年度 会計方針変更前	会計方針の変更による影響額	
営業収益	68,131	87,200	+19,068 (+28.0%)		83,400	+3,800 (+4.6%)	
ホテル業	10,891	16,900	+6,008	(+)外出自粛緩和による利用者数の回復	16,900	0	
レストラン業	11,160	16,100	+4,939	(+)前期臨時休業の反動 (+)外出自粛緩和による利用者数の回復	16,100	-	
その他	46,079	54,200	+8,120	(+)会計方針の変更による影響 (+)リゾート人材派遣・広告需要回復	50,400	+3,800	手数料収入の計上方法変更
営業利益	△13,020	△6,100	+6,920 (-)		△6,100	- (-)	
ホテル業	△10,429	△6,100	+4,329		△6,100	-	
レストラン業	△2,008	0	+2,008		0	-	
その他	△582	0	+582		0	-	

設備投資額	5,431	5,000	△431
減価償却費	4,422	4,200	△222

営業収益の推移（単位：億円）



# (参考) 上期 連結業績予想



単位：百万円	2020年度 上期	2021年度 上期	増減
営業収益	167,645	191,900	+24,254 (+14.5%)
運輸業	53,490	72,700	+19,209
鉄道業	40,381	54,900	+14,518
バス業	11,505	14,900	+3,394
その他	1,603	2,900	+1,296
流通業	70,705	54,900	△15,805
百貨店業	36,216	19,300	△16,916
ストア・小売業	31,268	31,900	+631
その他	3,220	3,700	+479
不動産業	27,352	37,400	+10,047
不動産分譲業	7,982	15,700	+7,717
不動産賃貸業	19,370	21,700	+2,329
その他の事業	29,676	41,100	+11,423
ホテル業	3,896	8,100	+4,203
レストラン業	4,752	8,100	+3,347
その他	21,027	24,900	+3,872
調整額	△13,578	△14,200	△621

単位：百万円	2020年度 上期	2021年度 上期	増減
営業利益	△19,193	9,800	+28,993 (-)
運輸業	△15,361	3,100	+18,461
鉄道業	△9,779	4,500	+14,279
バス業	△4,608	△1,200	+3,408
その他	△974	△200	+774
流通業	△1,619	1,700	+3,319
百貨店業	△1,390	1,400	+2,790
ストア・小売業	△56	400	+456
その他	△172	△100	+72
不動産業	6,148	8,500	+2,351
不動産分譲業	△354	900	+1,254
不動産賃貸業	6,502	7,600	+1,097
その他の事業	△8,386	△3,500	+4,886
ホテル業	△6,310	△3,200	+3,110
レストラン業	△1,225	0	+1,225
その他	△850	△300	+550
調整額	25	0	△25
経常利益	△22,049	8,500	+30,549
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△21,280	7,500	+28,780

# (参考) 下期 連結業績予想



単位：百万円	2020年度 下期	2021年度 下期	増減
営業収益	218,332	203,300	△15,032 (△6.9%)
運輸業	62,739	77,300	+14,560
鉄道業	47,487	58,100	+10,612
バス業	12,985	16,200	+3,214
その他	2,266	3,000	+733
流通業	86,979	57,100	△29,879
百貨店業	50,155	21,100	△29,055
ストア・小売業	33,160	32,100	△1,060
その他	3,663	3,900	+236
不動産業	45,520	37,500	△8,020
不動産分譲業	24,062	16,400	△7,662
不動産賃貸業	21,458	21,100	△358
その他の事業	38,455	46,100	+7,644
ホテル業	6,994	8,800	+1,805
レストラン業	6,407	8,000	+1,592
その他	25,052	29,300	+4,247
調整額	△15,362	△14,700	+662

単位：百万円	2020年度 下期	2021年度 下期	増減
営業利益	△4,996	9,700	+14,696 (-)
運輸業	△10,576	2,700	+13,276
鉄道業	△6,931	3,400	+10,331
バス業	△2,886	△500	+2,386
その他	△758	△200	+558
流通業	△122	2,500	+2,622
百貨店業	△123	2,000	+2,123
ストア・小売業	113	500	+386
その他	△111	0	+111
不動産業	10,311	7,100	△3,211
不動産分譲業	2,421	100	△2,321
不動産賃貸業	7,889	7,000	△889
その他の事業	△4,634	△2,600	+2,034
ホテル業	△4,119	△2,900	+1,219
レストラン業	△783	0	+783
その他	268	300	+31
調整額	24	0	△24
経常利益	△9,173	8,700	+17,873
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△18,524	6,000	+24,524

## 基本方針

業績向上の成果として連結配当性向30%を目安に安定的な利益配当を継続

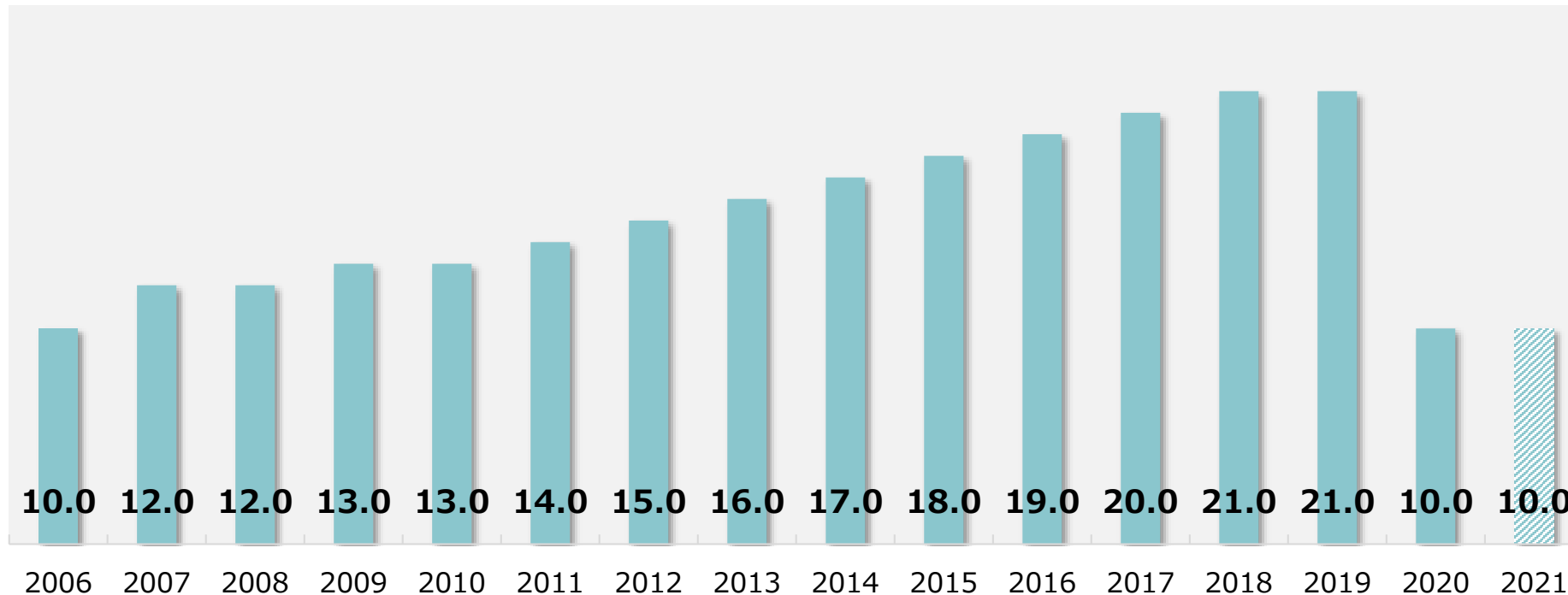
## 2021年度 配当予想

中間配当については外部環境の不透明性から見送りとするものの、  
安定的な利益配当を行う観点から期末配当は前年同額の1株あたり10円を予定

### < 1株当たり配当金の推移（予想含む） >

2016年度以前の1株当たり配当金は、株式併合の影響を考慮した金額

（単位：円）



## ■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を弊社ウェブサイト「決算短信」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/settle/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

## ■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

# 小田急電鉄株式会社